

XML が開く学術出版の未来

学術情報 XML 推進協議会設立記念講演会

欧米の学術出版においては、XML が標準となっています。XML で出版することにより、

- (1) 論文データが構造化され、電子ジャーナルにおけるプレゼンテーションの高度化が実現する
- (2) リンクやセマンティック・タグの付与、図表など論文要素単位の配信、など加工・付加価値化が図れる
- (3) メタデータの交換、アーカイブなど、標準化による流通促進がおこなわれる

などの利点が生れます。学術出版において XML を普及していくため、この 6 月に関係者により「学術情報 XML 推進協議会」が結成されました。その設立記念講演会を下記のよう

日時: 2012 年 9 月 19 日 (水曜日) 14:00-17:00

〒102-0076 東京都千代田区五番町 7 K's 五番町

場所: 独立行政法人 科学技術振興機構 東京本部別館ホール

<http://www.jst.go.jp/koutsu.html>

(サイエンスプラザではありません、お間違えないようお願いいたします)

共催: 学術情報 XML 推進協議会

独立行政法人 科学技術振興機構

プログラム

1. XML が開く学術出版の未来 (時実象一 愛知大学教授)
2. J-STAGE で実現する新しい電子ジャーナル (講師未定 科学技術振興機構)
3. 印刷会社は XML で飛躍する (中西秀彦 中西印刷株式会社)
4. J-STAGE における XML 出版の経験 (学会・印刷会社による経験披露)

参加ご希望の方は、ご所属・ご氏名・参加人数を明記の上、

xmलगakujutsu@yahoo.co.jp

までお申し込みください。